

## 1. 貴社の概要

1. 会社法上の区分		
1. 大会社(資本金5億円以上または負債200億円以上)		175
2. 中小会社(資本金5億円未満)		17
N/A		2
小計		194
2. 公開区分		
1. 東証一部		100
2. 東証二部		15
3. その他証券取引所		11
4. その他公開		4
5. 未公開		63
N/A		1
小計		194
3. 資本系列		
1. 日本系		185
2. 米国系		2
3. 欧州系		3
4. その他		2
N/A		2
小計		194
4. 業種		
1. 水産/農林/食料品		8
2. 建設/倉庫/不動産		12
3. 化学/医療品/繊維/ハルブ/紙		28
4. 石油/鉱業/ゴム/ガラス		8
5. 鉄鋼/金属		4
6. 機械/電気/精密/輸送用機器		42
7. 卸売業/小売業/運輸		28
8. 通信/電力/ガス		8
9. サービス		32
10. その他		24
小計		194
5. 連結子会社数		
1. 1～9社		80
2. 10～49社		70
3. 50社以上		23
4. 連結子会社なし		20
N/A		1
小計		194
6. 連結年間売上高		
1. 1百億円未満		20
2. 1百億円～1千億円未満		80
3. 1千億円～5千億円未満		60
4. 5千億円～1兆円未満		13
5. 1兆円以上		14
N/A		7
小計		194
7. 連結総資産		
1. 1百億円未満		23
2. 1百億円～1千億円未満		91
3. 1千億円～5千億円未満		43
4. 5千億円～1兆円未満		6
5. 1兆円以上		23
N/A		8
小計		194

8.連結従業員数		
1.1百人未満		3
2.1百人～1千人未満		60
3.1千人～5千人未満		77
4.5千人～1万人未満		23
5.1万人以上		28
N/A		3
小計		194
貴社ではCSA活動を行っていますか		
1.現在実施している		92
2.過去に実施していた		9
3.実施していない(実施したことがない)		89
N/A		4
小計		194

## 2.自己評価の概要

1.活動目的(複数選択可)		
1.内部監査実施の事前情報収集		49
2.内部監査の代替		15
3.経営計画の進捗状況レビュー		6
4.業務の効率化・生産性向上		24
5.内部統制評価報告作業の効率化		43
6.リスクマネジメント活動の一環		46
7.従業員の啓蒙・意識付け		49
8.その他		4
小計		236
2.推進部門(主なものを一つ選択)		
1.内部監査部門		51
2.内部統制推進部門		22
3.リスクマネジメント部門		3
4.コンプライアンス部門		4
5.CSR推進部門		3
6.委員会・プロジェクト		7
7.総務部門		2
8.経営企画部門		5
9.その他		6
小計		103
3.推進部門の人数		
1.1名		8
2.2名		18
3.3名		13
4.4名		9
5.5名以上		54
小計		102
4.対象範囲(主なもの一つを選択)		
1.全グループ会社		58
2.特定地域の会社		1
3.自社(単体のみ)		19
4.特定の機能(部門横断)		6
5.特定の部門		13
6.その他		3
小計		100
5.手法・アプローチ(複数選択可)		
1.ワークショップ方式(ファシリテータによる)		18
2.アンケート方式		83
3.インタビュー方式		27
4.その他		4
小計		132

<b>6.推進体制</b>		
1.内部監査部門が単独で企画・実施		40
2.内部監査部門と推進部門が共同で企画・実施		33
3.推進部門(内部監査部門以外)が単独で企画・実施		27
小計		100
<b>7.内部監査部門の関与について</b>		
1.企画・実施する		42
2.アドバイザー・コンサルタントの立場で関与		12
3.結果報告を受ける立場		31
4.関与しない		9
5.その他		1
小計		95
<b>8.結果の利用方法(複数選択可)</b>		
1.監査計画への反映及び監査の準備		54
2.監査の代替		20
3.経営への報告・提案		55
4.リスク管理		46
5.業務改善活動		48
6.外部報告		17
7.その他		4
小計		244
<b>9.J—SOX対応としての自己評価</b>		
1.実施している		58
2.実施していない		43
小計		101
<b>10.J—SOX対応としての自己評価の推進部門(主なものを一つ選択)</b>		
1.内部監査部門		28
2.内部統制推進部門		23
3.リスクマネジメント部門		1
4.財務経理部門		5
5.CSR推進部門		2
6.委員会・プロジェクト		6
7.総務部門		0
8.経営企画部門		2
9.その他		7
小計		74
<b>3-1.ワークショップ方式(J—SOX対応を除く)</b>		
<b>1.ワークショップに取り組みだした時期</b>		
1.試験的に実施中		1
2.1—2年前から実施中		6
3.3年以上前から実施中		8
4.過去に実施したが現在は休止又は中止		2
小計		17
<b>2.ワークショップ方式のCSAの目的(複数回答可)</b>		
1.リスクの洗出し		12
2.リスク評価		12
3.コントロール評価		9
4.改善策立案		13
5.その他		3
小計		49

3.ワークショップの年間開催数		
1.1回未満		1
2.1回程度		5
3.2回～4回		8
4.5回～9回		1
5.10回以上		2
小計		17
4.ワークショップ開催の可否テーマの決定権者		
1.経営者		1
2.実施対象部門の長(役員・部長等)		2
3.実施対象部門の従業員が自主的に決定		5
4.CSA推進部門		4
5.実施対象部門とCSA推進部門の協議		4
6.その他		1
小計		17
5.ワークショップ開催に協力する動機付け(インセンティブ)		
1.業務改善効果やリスク改善効果等の実利		10
2.業務目標への計上・反映		1
3.経営層からの推奨		5
4.その他		1
小計		17
6.ワークショップの所要時間(1回当たり)		
1.1時間程度		2
2.2時間程度		10
3.3時間程度		3
4.4時間程度		1
5.5時間以上		1
小計		17
7.平均的なワークショップの参加人数		
1.4名以下		5
2.5～10名		10
3.11～15名		1
4.16～20名		0
5.21名以上		1
小計		17
8.参加者の所属部門		
1.原則として全員同一部門		6
2.テーマにより関連する複数の部門から参加する		9
3.その他		1
小計		16
9.参加者の人選・開催日程の決定等		
1.実施対象部門の長もしくは管理職が指名		7
2.対象部門と協議の上 推進部門が指名		7
3.その他		2
小計		16
10.ワークショップの司会進行役(ファシリテーター)		
1.実施対象部門の役員・管理職が担当		4
2.推進部門の人間が担当		7
3.実施対象部門の役員・管理職が参加者から指名		1
4.参加者の互選		2
5.特に設けない		1
6.その他		2
小計		17
11.司会進行役(ファシリテーター)への特別な研修・訓練(複数回答可)		
1.社内研修		3
2.社外のセミナー・研修		4
3.コンサルタントのレクチャー		6
4.研修・訓練を受けていない		6
小計		19

## 12.ワークショップ結果報告の作成と承認

1.推進部門が作成し、推進部門の責任者が承認	6
2.推進部門が作成し、実施対象部門の責任者が承認	3
3.実施対象部門が作成し、推進部門の責任者が承認	1
4.実施対象部門が作成し、実施対象部門の責任者が承認	5
5.作成しない	0
6.その他	2
小計	17

13.ワークショップの結果の報告先(複数回答可)		
1.実施対象部門の長や管理職		10
2.経営層		13
3.推進部門		6
4.内部監査部門		7
5.その他		2
小計		38
14.ワークショップで合意した改善策等の実行を担保する仕組み		
1.実施対象部門の長や管理職に一定期限までに対応する期限を		7
2.ワークショップ自体が実行責任者と期限について決定する		6
3.推進部門や内部監査部門によるフォロー		10
4.改善策等は策定しない		1
5.その他		2
小計		26
15.外部コンサルタントの利用と役割(複数回答可)		
1.導入にあたっての検討・準備に係る支援・指導		7
2.ワークショップの進行マニュアル・手順書等の作成支援		3
3.ワークショップの司会進行役の訓練		2
4.ワークショップ開催時の司会進行役の派遣		3
5.ワークショップ開催時のアドバイザーの派遣		3
6.利用しない		9
小計		27
16.(外部コンサルタントを利用された方のみ)利用した外部コンサルタントに対する評価		
1.大変役立った		8
2.役に立ったが不可欠ではなかった		0
3.役に立たなかった		0
小計		8
17.ワークショップ実施目的の達成度合い		
1.満足		5
2.ほぼ満足		10
3.どちらともいえない		0
4.やや不満足		2
5.不満足		0
小計		17
18.今後継続的にワークショップを実施する予定		
1.いままでどおり継続実施		9
2.頻度、方法、容量等を見直した上で実施予定		6
3.実施しない		0
4.実施・中止について検討中		2
小計		17
19.ワークショップ方式のCSAを導入する上で、特に苦労した事項(複数回答可)		
1.経営層の了解を得ること		1
2.実施対象部門の責任者の了解を得ること		3
3.実施対象者の理解を得ること		8
4.実施対象者への説明・啓発		10
5.ワークショップのテーマの選定		5
6.ワークショップの具体的な企画、準備		7
7.ファシリテーターの人選		2
8.ファシリテーターの研修、訓練		5
9.結果のとりまとめと報告		6
10.その他		0
小計		47
3-1.アンケート方式(J-SOX対応を除く)		
1.アンケートの実施状況		
1.試験的に実施中		5
2.1-2年前から継続的に実施		16
3.3年以上前から実施		33
4.過去に実施したが、現在は休止又は中止		6

小計	60
2.アンケート方式CSAの目的(複数回答可)	
1.リスクの洗出し	43
2.リスク評価	32
3.コントロール評価	34
4.改善策立案	17
5.その他	6
小計	132

3.これまでのアンケート実施頻度		
1.毎年1回程度		36
2.半期に1回程度		10
3.四半期に1回程度		2
4.不定期に複数回実施		12
小計		60
4.平均的なアンケートの設問数		
1.10問未満		8
2.10～30問未満		19
3.30～50問未満		10
4.不定期に複数回実施		23
小計		60
5.回答方法		
1.紙ベース		12
2.電子ファイル(EXCEL等)		39
3.市販のアプリケーション(webを含む)を利用		5
4.自社開発のアプリケーションを利用		4
5.その他		0
小計		60
6.アンケートは記名式		
1.はい		53
2.いいえ		7
小計		60
7.アンケート回答者の人選、対象者(複数回答可)		
1.実施対象部門全員が回答		3
2.実施対象部門の長もしくは管理職が回答		44
3.コンプライアンス担当者など回答者が決められている		5
4.実施対象部門の長もしくは管理職が実施の都度回答者を指名		11
5.推進部門が指名		9
6.その他		1
小計		73
8.アンケートの方式(複数回答可)		
1.はい・いいえ方式		21
2.選択肢方式		8
3.評価方式(3段階、5段階など)		24
4.記述式答		37
5.その他		0
小計		90
9.アンケート集計結果の報告先(複数回答可)		
1.実施対象者の長や管理職		28
2.経営層		43
3.推進部門		15
4.内部監査部門		31
5.その他		7
小計		124
10.改善策の立案・実行の責任者		
1.実施対象部署の長や管理職		47
2.経営層		2
3.推進部門		2
4.内部監査部門		5
5.その他		3
小計		59
11.外部コンサルタントの利用と役割(複数回答可)		
1.導入にあたっての検討・準備に係る支援・指導		6
2.アンケートの作成支援		6
3.アンケートの配布・回収		0
4.アンケート結果の分析支援		6
5.報告書の作成支援		5
6.利用せず		51

7.その他	1
小計	75
12.利用したコンサルタントに対する評価	
1.大変役立った	8
2.役に立ったが不可欠でなかった	1
3.役に立たなかった	1
小計	10

13.全体としてアンケート実施目的の達成度合い		
1.満足		3
2.ほぼ満足		30
3.どちらともいえない		18
4.やや不満		1
5.不満		1
小計		53
14.今後継続的にアンケートを実施する予定		
1.いままでどおり継続実施		31
2.頻度、方法、要領等を見直した上で実施予定		19
3.実施しない		2
4.実施、中止を検討中		1
小計		53
15.アンケート方式のCSAを導入する上で、特に苦労した事項(複数回答可)		
1.経営層の了解を得ること		2
2.実施対象部門の責任者の了解を得ること		3
3.実施対象者の理解を得ること		13
4.実施対象者への説明・啓発		28
5.設問の設定		34
6.評価基準の策定		17
7.回答の回収		8
8.評価結果の集計分析		26
9.結果のとりまとめと報告		16
10.その他		4
小計		151

#### 4.J-SOX対応の自己評価活動

J-SOX対応で利用しているCSAの方式		
1.アンケート方式		47
2.ワークショップ方式(ファシリテーターによる)		7
3.アンケート方式・ワークショップ方式(ファシリテーターによる)両方		3
小計		57
1-1.アンケートの実施状況		
1.継続的に実施中		45
2.試験的に実施(本年度)		3
3.過去に実施したが、現在は休止又は中止		1
小計		49
1-2.アンケートの対象(複数回答可)		
1.全社的統制		38
2.業務プロセスに係る内部統制		24
3.IT統制		20
4.その他		5
小計		87
1-3.アンケート方式CSAの目的(複数回答可)		
1.リスクの洗出し		14
2.リスク評価		17
3.コントロール評価		44
4.改善策立案		19
5.その他		2
小計		96
1-4.アンケートの実施頻度		
1.毎年1回程度		34
2.半期に1回程度		9
3.四半期に1回程度		4
4.不定期に複数回実施		0
小計		47
1-5.平均的なアンケートの設問数		
1.10問未満		4
2.10~30問未満		15

3.30～50問未満	13
4.50問以上	16
小計	48
1-6.回答方法	
1.紙ベース	15
2.電子ファイル(EXCEL等)	28
3.市販のアプリケーション(webを含む)を利用	2
4.自社開発のアプリケーションを利用	2
5.その他	0
小計	47
1-7.アンケート回答者の人選、対象者(複数回答可)	
1.プロセスオーナーが回答	26
2.対象プロセスの関係者全員が回答	1
3.対象プロセスの一部関係者が回答	20
4.トップマネジメント(社長、役員等)が回答	12
5.その他	3
小計	62
1-8.アンケートの方式(複数回答可)	
1.はい・いいえ方式	27
2.選択肢方式	10
3.評価方式(3段階、5段階など)	7
4.記述式答	35
5.その他	1
小計	80
1-9.アンケート集計結果の報告先(複数回答可)	
1.実施対象者の長や管理職	19
2.経営層	25
3.推進部門	19
4.内部監査部門	27
5.その他	3
小計	93
1-10.改善策の立案・実行の責任者	
1.実施対象部署の長や管理職	40
2.経営層	2
3.CSA推進部門	5
4.改善策の立案は行わない	0
5.その他	0
小計	47
1-11.外部コンサルタントの利用と役割(複数回答可)	
1.導入にあたっての検討・準備に係る支援・指導	14
2.アンケートの作成支援	6
3.アンケートの配布・回収	0
4.アンケート結果の分析支援	1
5.報告書の作成支援	2
6.利用せず	32
7.その他	1
小計	56
1-12.(外部コンサルタントを利用された方のみ)利用した外部コンサルタントに対する評価	
1.大変役立った	9
2.役に立ったが不可欠ではなかった	6
3.役に立たなかった	0
小計	15
1-13.全体としてアンケート実施目的の達成度合い	
1.満足	4
2.ほぼ満足	29
3.どちらともいえない	8
4.やや不満	4
5.不満	0
小計	45

1-14. 今後継続的にアンケートを実施する予定		
1. いままでどおり継続実施		34
2. 頻度、方法、要領等を見直した上で実施予定		12
3. 実施しない		0
4. 実施、中止を検討中		0
小計		46
1-15. アンケート方式のCSAを導入する上で、特に苦勞した事項(複数回答可)		
1. 経営層の了解を得ること		2
2. 実施対象部門の責任者の了解を得ること		7
3. 実施対象者の理解を得ること		18
4. 実施対象者への説明・啓発		32
5. 設問の設定		30
6. 評価基準の策定		23
7. 回答の回収		8
8. 評価結果の集計分析		12
9. 結果のとりまとめと報告		12
10. その他		1
小計		145
2-1. ワークショップの実施状況		
1. 継続的に実施中		7
2. 試験的に実施(本年度)		1
3. 過去に実施したが、現在は休止又は中止		2
小計		10
2-2. ワークショップ方式の対象(複数回答可)		
1. 全社的統制		5
2. 業務プロセスに係る統制		9
3. IT統制		5
4. その他		1
小計		20
2-3. ワークショップ方式CSAの目的(複数回答可)		
1. リスクの洗出し		6
2. リスク評価		6
3. 統制状況の評価		9
4. 改善策の立案		5
5. その他		0
小計		26
2-4. ワークショップの年間開催回数		
1. 1回未満		1
2. 1回程度		5
3. 2回～4回		1
4. 5回～9回		0
5. 10回以上		3
小計		10
2-5. ワークショップ開催の可否・テーマの決定権者		
1. 経営層		1
2. 実施対象部門の長(役員・部長等)		2
3. 実施対象部門の従業員が自主的に決定		0
4. CSA推進部門		3
5. 実施対象部門とCSA推進部門の協議		3
6. その他		1
小計		10
2-6. ワークショップの所要時間(1回当たり)		
1. 1時間程度		3
2. 2時間程度		3
3. 3時間程度		1
4. 4時間程度		0
5. 5時間以上		3
小計		10
2-7. 平均的なワークショップの参加人数		

1.4名以下	5
2.5～10名	3
3.11～15名	1
4.16～20名	0
5.21名以上	1
小計	10
2-8.参加者の所属部門	
1.原則として全員同一部門	4
2.テーマにより関連する複数の部門から参加する	5
3.その他	1
小計	10
2-9.参加者の人選開催日程の決定等	
1.実施対象部門の長もしくは管理職が指名	6
2.対象部門と協議の上、推進部門が指名	3
3.その他	1
小計	10
2-10.ワークショップの司会進行役(ファシリテーター)	
1.実施対象部門の役員・管理職が担当	1
2.推進部門の人間が担当	5
3.実施対象部門の役員・管理職が参加者から氏名	1
4.参加者の互選	0
5.特に設けない	2
6.その他	1
小計	10

2-11. 司会進行役(ファシリテーター)への特別な研修・訓練(複数回答可)		
1.社内研修		2
2.社外のセミナー・研修		5
3.コンサルタントのレクチャー		3
4.研修・訓練を受けていない		5
小計		15
2-12. ワークショップ結果報告の作成と承認		
1.推進部門が作成し、推進部門の責任者が承認		2
2.推進部門が作成し、実施対象部門の責任者が承認		1
3.実施対象部門が作成し、推進部門の責任者が承認		1
4.実施対象部門が作成し、実施対象部門の責任者が承認		4
5.作成しない		0
6.その他		1
小計		9
2-13. ワークショップの結果の報告先(複数回答可)		
1.実施対象部門の長や管理職		7
2.経営層		3
3.推進部門		6
4.内部監査部門		5
5.その他		0
小計		21
2-14. ワークショップで合意した改善策等の実行を担保する仕組み(複数回答可)		
1.実施対象部門の長や管理職に一定期限までに対応する期限を		4
2.ワークショップ自体が実行責任者と期限について決定する		1
3.推進部門や内部監査部門によるフォロー		6
4.改善策等は策定しない		0
5.その他		0
小計		11
2-15. 外部コンサルタントの利用と役割(複数回答可)		
1.導入にあたっての検討・準備に係る支援・指導		4
2.ワークショップの進行マニュアル・手順書等の作成支援		3
3.ワークショップの司会進行役の訓練		1
4.ワークショップ開催時の司会進行役の派遣		0
5.ワークショップ開催時のアドバイザーの派遣		0
6.利用しない		5
小計		13
2-16. (外部コンサルタントを利用された方のみ) 利用した外部コンサルタントに対する評価		
1.大変役立った		5
2.役に立ったが不可欠ではなかった		0
3.役に立たなかった		0
小計		5
2-17. 全体としてワークショップ実施目的の達成の度合い		
1.満足		2
2.ほぼ満足		7
3.どちらともいえない		1
4.やや不満足		0
5.不満足		0
小計		10
2-18. 今後継続的にワークショップを実施する予定		
1.いままでどおり継続実施		4
2.頻度、方法、要領等を見直した上で実施予定		4
3.実施しない		1
4.実施・中止について検討中		1
小計		10
2-19. ワークショップ方式のCSAを導入する上で、特に苦労した事項(複数回答可)		
1.経営層の了解を得ること		1
2.実施対象部門の責任者の了解を得ること		4
3.実施対象者の理解を得ること		5
4.実施対象者への説明・啓発		5

5.ワークショップのテーマの選定	0
6.ワークショップの具体的な企画、準備	3
7.ファシリテーターの人選	0
8.ファシリテーターの研修、訓練	2
9.結果のとりまとめと報告	1
10.その他	0